



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

子どもの居場所 移転完了！ 4月8日から活動開始 【光回線もつながりました】



「子どもの居場所」開いています！

4月8日(金曜日)より、今市郵便局前の2階建て住宅での「子どもの居場所」がオープンしました。(地図は3ページに)「子どもの居場所・なんとなくのにお」は2005年「報徳今市振興会館」を活動場所として始めました。2013年に「日光歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館・日光市市民活動支援センター」合同施設の建設により平ヶ崎へ。それから9年後、2度目の移転となりました。

昨年の5月より、理事会を中心にいくつかの移転候補を検討し、周囲の方の意見も伺い、9月にはほぼ現在の家屋に決定。インターネット回線導入や空調設備の充実などもこの機会にと、助成金応募にもチャレンジしました。転居にともなうさまざまな作業は、メンバーが自分のできること、得意分野で動き、自然に流れが作られ、予定どおりのスケジュールで移動が完了しました。「なんとなく」、引っ越しできてしまったわけはありませんが、当NPOのチームワークが発揮された引っ越しだったように思います。(2ページに「引っ越し日記」)

4月20日には長い間課題となっていた光回線によるイン

ターネット接続が完了し、高速通信が実現しました。昨年度、Webカメラや会議用マイク・スピーカを購入し“Zoom Meeting”などのアプリも使い慣れ、リモートおしゃべり会の設定も気軽にできるようになりました。しかしポータブルWiFiのため回線速度が遅く、とくに電波の弱くなる雨の日はネット接続が切れてしまうなど、残念なことが多かったのですが、今回の光回線導入によって安定な接続が保証され、活用の幅が広がるのではと期待しています。もちろん、居場所利用者は「なんにわ-WiFi」に接続することができます。スタッフに声をかけてください。

「新型コロナウイルス感染症(Covid-19)」の終息は、まだ見とおせない状態が続いています。当分はマスク着用、体温チェック、手洗い励行は続けなければなりません。空気清浄機の活用や換気など、感染防止対策をとり、昨年同様に、居場所事業と相談支援事業を進めていきます。コロナ終息後には「居場所オープンデー」や2019年以来中断してしまった「勉強会」、「サイエンス・カフェ」など、地域に開いた集まりを企画していきたいと思っています。今年度もよろしくお願ひいたします。(手塚)



「子どもの居場所」の部屋配置です。1階は自由にたんけんできます。興味のあること、やってみたいこと、何でもスタッフにどうぞ！相談支援事業「さくらそう」の事務室・相談室は2階にあります。

子育て・親育ちの茶話会

場所：子どもの居場所(日光市平ヶ崎)

日時：毎月 第2月曜日(午前10時~12時)

次回の予定は電話でお問い合わせください。

参加費：300円(お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合ひましょう。「一人で悩まず、みんなで！」を合言葉に。
(Tel: 090-3227-7079)

目次

子どもの居場所、移転のお知らせ	1
なんにわ・ひっこし日記	2
居場所地図	3
活動報告	3
こんな本はいかがが・57	4

居場所のひとこま

前号で紹介しましたが、昨年度大活躍だった「音楽室」も新しい居場所に移ってきました。もし、この部屋を使う人がいなければハンモックを置いて「休憩室」かなあと思っているうちに、もうバンド演奏が聞こえてきました。コロナ明けには、2階でミニライブができるかも。楽しみです。(N)



なんにわ・ひっこし日記

2022年3月～4月

■ 3月5日(土) 午後1時より 4月からの「居場所」転居先の清掃スタッフに加えて、理事と家族の方の応援あり。手分けしての雑巾がけやホコリ払いなど。搬入に向けた準備が進みました。2時間あまりの作業を終え、みなさま、お疲れさまでした。すでに購入していた冷蔵庫が届き、設置完了。動作を確認して電源を切りました。(冷蔵庫は助成金で購入) ブレーカーをONしてみると、スイッチが壊れているのか、点いたままの照明が2か所あることがわかり、ブレーカーOFFで退出。

■ 3月8日(火) 午後6時より理事会を開く

まだ寒い日が続いていた、3月8日。第106回 理事会は転居先で行いました。石油ストーブで暖をとり、理事会後、スタッフを中心に部屋の区分け、レイアウトについて相談しました。

■ 3月9日(水) 午前10時～午後まで ガス配管工事

数日前にガス屋さんから、ガス配管修理、およびガス湯沸かし器などの設置の電話連絡を受けたことをすっかり忘れ、朝の確認電話であわててカギを開けに行きました。工事は午後までかかりました。これでガスレンジと湯沸かし器が使えます。費用は大和証券財団からの助成金の一部(4万円)に「なんにわの負担」を(約4万円)を加えて支払うことにしました

■ 3月半ばから 小物や本などの箱詰め作業開始



写真(左)は3月半ばの居場所座敷の様子です。搬出時に混乱しないよう、本や小荷物をダンボール箱に入れる作業を始めました。マンガ本などが姿を消し、部屋の片隅の段ボール箱でお休みしています。ギターやハンモックはまだ出番があり、そのまま置かれています。

■ 3月24日(木) 2021年度「子どもの居場所」最終日

■ 3月25日(金) 引越し作業一第1日・午後1時より

いよいよ本番。メンバーは理事全員に加え、助っ人のKさん、Tさんの協力を得て春日町への引越し作業を始めました。Kさん運転のワゴン車により、大きめの机や棚の移動が滞りなく進みました。また、どうしようと思っていたスイッチの切れない2か所の天井照明はTさんによる器具の提供と設置作業により解決。お二人には搬出搬入の力仕事にもご協力いただきました。ありがとうございました。

午前中に水道配管の修理屋さんが入り、手洗い場の水道が



開通しました。ブレーカON、水道元栓が開いた状態で使用できるようになりました。残った備品の運搬は明日続行。

■ 3月26日(土) 引越し作業一第2日・午後1時より

昨日残った荷物について運搬作業、並行して春日町居場所の整理・棚詰めなどを手分けして行いました。居場所スタッフに加え、理事や息子さんの参加がありました。軽ワゴン車で積み残の段ボール箱などを運んでいただき、移動がとてはかどりました。ありがとうございました。

居場所のレイアウトもだいぶ形になってきましたが、これで決定というわけではなく、じっさいに動きだしてみ、アイデアが出てくれば変えていくこととなります。

3月までの「居場所」清掃作業も残っていました。細かい荷物の整理、古い暖房器具やCDプレイヤーなどの解体・廃棄、家屋周辺の片付け、掲示物の取り外しなども平行して行いました。慣れない仕事に疲れ、月曜まで作業はお休み。火曜日から再開ということで解散しました。お疲れ様でした。

■ 3月29日(火) 引越し作業一第3日・12:30より

日・月曜日とお休みし、今日は4名で手分けして平ヶ崎の片づけ作業、および4月からの居場所の整理を行いました。平ヶ崎居場所の座敷、スタッフ室、ゲーム室、音楽室はほぼ終了、あとは車1台分の荷物が残るくらいとなりました。新しい居場所もだいぶ形になってきました。

■ 3月30日(水) 引越し作業一第4日・12:30より

平ヶ崎居場所では台所と玄関周りの片づけ。新居場所では段ボール箱を開き、荷物の確認と整理をスタッフが手分けして行いました。大家さんに鍵を返し、内部点検をお願いしました。明日も開所準備を中心に、荷物整理を行います。

■ 3月31日(木) 引越し作業一第5日

残っていた石油ストーブや廃材、工具箱などを回収。家の内部についても、とくに問題はないということで安心しました。大家さん、そして居場所周囲の方々、駐車場所や公園の使用について、長い間ご協力いただきました。ありがとうございました。9年間お世話になった建物にもお別れて来ました。

■ 4月1日(金)～7日(木) 開所準備

新居場所ではパソコンも動き出し、とりあえずポケットWiFiでインターネットにつないでいます。次はいよいよインターネットへの光回線接続、居場所内のネットワーク整備。こちらも4月中には実現できそうです。(4月20日に光回線開通しました)

■ 4月8日(金) 2022年・子どもの居場所オープン

2022年度の「子どもの居場所」が始まりました。ギター練習にゲームに、いままでの居場所の雰囲気が戻ってきました。

☆ 活動日誌

- 1月31日(月) 通信「なんとなくのひろば」第66号 発行
- 2月14日(月) 茶話会(第114回)
- 2月27日(日) 日光市ひきこもり相談センターかがやき 講演会
- 2月27日(日) ベリー会: 学習会
- 3月5日(土) 新居場所(春日町2丁目)の大掃除
- 3月8日(火) 第106回 理事会
- 3月14日(月) 茶話会(第115回)
- 3月24日(木) 2021年度・子どもの居場所 最終日
- 3月25日(金) 新居場所への引っ越し運搬作業開始
- 3月27日(日) ベリー会: 月例会
- 3月31日(木) 運搬および平ヶ崎居場所の清掃作業終了
- 4月1日(金) ~ 7日(木) 居場所 清掃および片付け作業
- 4月8日(金) 2022年度・子どもの居場所オープン
- 4月11日(月) 茶話会(第116回)
- 4月20日(水) 光インターネット接続回線開通



引越しの頃のこんびら山と田川
お世話になりました

さくらそう関連の勉強会など

ネット開通! 棚に収まったONUとルータ

[2021年度・日光市相談支援専門員連絡会]

1月26日(水) / 3月23日(水) 中止

[2021年度・日光市障害者自立支援協議会]

2月10日(木) 第8回 事例検討会議(中止)

3月24日(木) 第9回 事例検討会議

[2022年度・日光市障害者自立支援協議会]

4月14日(木) 第1回 事例検討会議

[その他]

2月28日(月) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて



子どもの居場所・なんとなくの
の活動場所が変わりました。

〒321-1261 日光市今市316-4

今市郵便局向かいです。

すぐ近くに「市民活動支援センター」・
「日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館」合同庁舎があります。

ゲーム(ボードゲームもあるよ)、楽器練習、ペーパークラフト、木工などの道具、パソコンもあります。おもいおもいに、自由に過ごすことができます。見学や訪問、いつでも歓迎です。どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。

居場所利用のお願い

新型コロナウイルス感染の広がりについて、まだまだ安心できない状況が続いています。感染症の終息まで、以下の点にご注意いただき、感染に配慮した居場所利用をお願いします。



- (1) 12時30分~16時30分まで居場所を閉所します。
- (2) 来所前は体温測定および手洗いを行ってください。
- (3) 風邪の症状または発熱がみられるときは来所を見合わせていただくようお願いします。
- (4) マスクの持参と着用をお願いします。

感染力の強い「変異ウイルス」はインフルエンザと違い、「無症状の感染者が他に感染させる場合がある」という特性を持ちます。「私は感染しているかもしれず、気付かないうちに周囲に感染を広げるかもしれない」と自覚し、人との接触を避ける行動を。

- ▼ 密な空間を避ける(互いに手の届かない位置で)
- ▼ 大声での会話、同室での食事をしない
- ▼ マスクをきちんと付ける を守りましょう。

空気清浄機を導入+窓を開け、空気入れ替えを行っています。



こんな本はいかが？ その 57

東洋文庫あれこれ・鹿洲公案

東洋文庫は1963年から刊行が始まった叢書である。平凡社のホームページには「アジア諸地域の代表的な古典、知られざる名作、貴重な日記・紀行文など、これまでに900点余りを刊行し続けてきた」とある。中東、インド、中央アジア、東南アジア、中国、朝鮮、そして日本など広範囲の作品を集めている。文庫といっても、ふつうの文庫本よりかなり大きめで、抹茶色の布に包まれた東洋文庫は独特の雰囲気を出している。

その東洋文庫、我が家の書架のどこかに十数冊は散らばっているような気がするが、全部読み通したと言えるのは橘南谿の「東西遊記1」<248>、「東西遊記2」<249>くらいかもしれない。江戸時代後期に書かれた紀行文である。日本各地で見聞きした奇談や異聞に興味深い。振り仮名が付いているので読みやすい。この2冊はおすすめできる。しかし、金色の背文字に押された書名を見ただけでは、中に何が書いてあるかわからないのが東洋文庫である。平凡社もそう思ったのか、「東洋文庫ガイドブック」をつくり、2002年に第1集、2006年に第2集が出ている。

先月、その「ガイド・2」のページをめくっていたら「鹿洲公案(ろくしゅうこうあん)」<92>(初版1967年)という本が気になった。清(中国)の藍鼎元(雅号:鹿洲)という人が1730年ごろ、広東省潮陽県の司法長官に転出し、裁判などに関り扱った事案のメモという。「旧中国社会の実態を伝え」とあり読んでみたいと思った。さて、東洋文庫で問題になるのは新本は高額であり、そうでなければ絶版状態が多いことである。そこで「アマゾン」が役に立つ。検索すると中古品と電子版が出てきたので600円の中古本を注文した。税+送料込み千円ちょっとで手に入る。以前、「北京風俗図譜」<23><30>を注文したら「訂正原本」印が押され、赤字書込みの重版室放出版が届き、珍本と言えなくはないが、ちょっとがっかりしたことがある。今回は初版7刷(1988年)の美品が届き、大当たりだった。

「鹿洲公案」には「実際にあった」という23話が記録されている。じつはまだ半分くらいしか読んでいないのだが、仕事を強要された税務吏員がいっせいにストライキを起こした話、穀物の海上運搬を監督する官吏と船長がずるをやった話など、興味深いものばかりである。強きをくじき、正義を貫く「大岡裁判」との評もあるようだけれど官僚制度の中、鹿洲さんにも上官がある。そちらの顔も付度しなければならぬ。そんな葛藤も読み取れ、現代日本にも通じる300年前の中国のお話集です。(手塚)

私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

会員について

正会員：51
賛助会員：15
団体会員：4

入会金なし
年会費(一口)
正会員 3,000円

賛助会員
個人 5,000円
団体 10,000円



私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員継続、応援をよろしくお願いします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。

なんとなくのへや

ロシアによるウクライナ侵略で「ネオン」の供給が減り、半導体生産の遅れにさらに打撃を与えるかもしれないという記事を読みました。ネオンは周期表の右端、縦に並ぶ「希(レア)ガス」の上から2番目に位置する元素の名前です。そういえば、ネオンってどこからどうやってとれるんだっけ？ ネオンと半導体の関係についても知らなかったもので、さっそくネット検索■ネオンガスをガラス管に閉じ込め内部放電させると、赤く光ることで名前が付いた「ネオンサイン」。そのネオンは、なんと、目の前の「空気」に含まれているのでした。空気を液体になるまで冷やし、温度差で成分を分けることで、溶接や医療に使われる酸素や、液体窒素などが作られます。その副産物としてネオンを集めることができるそうです。ただし空気中のネオンの割合はとても少ないので、大規模な分離装置でないと効率が悪く、ロシア、ウクライナなどに頼っている現状があるとか■では半導体との関連はというと、集積回路を作るときに使われる「エキシマレーザー」という光源に不可欠なのがネオン。ウクライナは世界のネオンガスの約70%を生産していることから冒頭の心配が出てくるらしい■「業界はすでにネオンを備蓄しているので影響は小さい」との見方もある…。短い時間でこれだけのことを教えてくれる情報システムに感謝すると同時に、同じ情報技術が「戦争」という途方もない暴力にも使われている。Webを見るたびに居心地の悪さを感じながら、今年の春をすごしています。(T)
*「ネオン」の解説は次のページがととてもよくできています。おすすめ。 <https://www.tgc.jp/raregas/index.html>